

地方派遣による中小企業金融ヒアリング調査結果の概要

I. 調査実施方法

平成 20 年 8 月、全国 11 の全ての財務局等管内の 15 道府県に金融庁幹部職員を派遣し、中小・零細企業及び団体 51 社・団体等から中小企業の業況・資金繰り、金融機関の融資姿勢等についてヒアリング調査を実施した。

II. 調査結果の概要

(1) 中小企業等からは、業種によりバラツキはあるものの、原油・原材料価格の高騰等を背景に、全般的に業況について厳しい認識が示された。

相対的には、金融面よりも、実体面の厳しさを指摘する声が多かった。

(例)

- 地域の中小企業の業況は、原材料価格の上昇、消費者購買力の低下、公共事業削減等の影響で一層厳しくなっている（中小企業団体）
- 業種によりバラツキが見られるが、春先以降景況感は悪化。特に建設業は価格競争の激化による赤字受注等もあり、きわめて厳しい状況（中小企業団体）
- 建設業の他、運輸、水産（漁業）、クリーニング、印刷業も、原油・原材料価格高騰等により業況が厳しい（中小企業団体）
- 燃料費の値上げ、個人利用客の売上減少のため、業況は厳しい（運輸業者）
- 4 月以降売上が減少しており、製造業各社が更なる商品値上げを表明している秋以降、一層の売上減少を懸念（小売業者）
- 原材料価格が高騰しているが、納入先が価格転嫁を認めてくれるのはコスト増分のせいぜい半分であるので、中小企業の経営は強く圧迫されている（製造業者）
- 原油価格高騰により旅行客が減少している上、夕食なしプランを希望する宿泊客が増える等客単価が一層下がっている（ホテル業者）
- 7 月以降、自動車メーカーの減産の影響が顕著になっており、輸送用機器関連の中小企業の間で先行きに対する不安が広がっている（中小企業団体）

- 8月の会員に対する調査では、経営上の問題として仕入単価の上昇、需要停滞、競争激化を挙げる企業は4～5割に上ったが、資金借入難、金利負担増等の金融面を挙げたのは1割弱だった（中小企業団体）
- 景況感についてはほとんどの業種が「悪化している」と見ている一方、資金繰りについては「横這い」としている業種が多い（中小企業団体）
- 建設・不動産関連は、今年に入り大型倒産が続いているが、資材価格上昇等によるマンション建設の落ち込み、価格転嫁の遅れ等から非常に苦しい状況にある（中小企業団体）
- 建設業は、公共工事の縮減、建築確認の厳格化等による住宅着工件数の減少等により、展望が開けない（中小企業団体）

(2) 中小企業等からは、金融機関の審査が慎重になっているとの声も示された。

地域金融機関は、地域の中小企業向け融資に積極的に取り組んでいるとの評価が多く示された。他方、地域を基盤としていない金融機関については、その時々借手企業の経営状況等に応じた対応であるとの評価も一部に見られた。

(例)

- 中小企業は原油・原材料価格の上昇分を販売価格に転嫁できず、業況が悪化している。これにより金融機関が借り手企業の債務者区分を引き下げ、慎重な対応をしている例が多い（中小企業団体）
- 「以前なら貸せたが今回は貸せない」という対応の金融機関がある。金融機関の審査が厳しく、時間がかかるようになっている（中小企業団体）
- 銀行の貸出態度は、バブル崩壊後の不況時には随分厳しいこともあったが、現在はそんなことはなく、むしろいろいろと相談に乗ってもらっている（運輸業者）
- 金融機関の経営指導は的を射ており、昔より良くなっている。また他県の先とのビジネスマッチングを支援する等努力している（製造業者、中小企業団体）
- 金融機関は、単に融資を断るだけではなく、断る際に、その企業のどこが悪いのか、どうすれば融資できるのかを具体的に示して欲しい（卸売業者）
- 建設・不動産業に対する金融機関の見方が厳しくなっているが、公共事業の半減、マンション販売の低迷等の状況を考えれば、貸す側が慎重になるのは仕方がない（中小企業団体）
- 当社は債務超過状態であるが、メインの地域金融機関が、返済負担軽減のために他の金融機関融資分の肩代わりをしてくれた。当該金融機関には「できる範囲で支援しよう」との姿勢が見られる（運輸業者）
- 地元の地域金融機関は、従来のような担保・保証主義でなくなっており、業績がよければ金利は下げてもらえるなど、企業の状

- 況に応じた対応がとられるようになっている（運輸業者）
- 地元の地域金融機関には個々の地元企業の実態をもっとよく見てもらいたい。企業実態を良く知っている支店が融資したくても、権限が強すぎる本部が許可しない例がある（製造業者）
 - 中小企業については、数字に現れない経営者の手腕・能力、地域における信用等が大切な要素。地域金融機関も経営幹部はこの点を良くわきまえているが、末端の職員は信用格付を中心に考えがちなので、（このような要素を重視する）リレーションシップバンキングの取組みはありがたい（中小企業団体）
 - メガバンクは融資先の調子が良いときは良いが、調子が悪くなるとすぐ逃げていく（運輸業者）
 - 当社は一定の利益を上げているが、特にメガバンクが融資に積極的。全国規模の販路の紹介やビジネスに対する助言もしてくれるのでありがたい（製造業者）

(3) 信用保証協会の保証、政府系金融機関に関する意見・要望も多かった。

(例)

- 信用保証協会の保証限度額引上げ、保証料率の抑制を期待。また地域経済力に応じた料率設定等も検討願いたい（中小企業団体）
- 商工中金や中小企業金融公庫等の政府系金融機関はいろいろな相談に乗ってくれる。設備投資にも政府系金融機関の融資が利用できるの助かっている（製造業者）
- 中小企業金融公庫と国民生活金融公庫が統合され、中長期的にセーフティネットとしての機能が維持されるか心配。また、短期的にも年末の資金需要期での対応を懸念している（中小企業団体）